

# Press Information

2004年11月24日  
No.04-06

## 曙ブレーキ工業(株) 西日本地区の生産拠点2社を統合へ

曙ブレーキ工業株式会社（代表取締役社長：信元 久隆 本店：東京都中央区 本社：埼玉県羽生市）のグループ企業である山陽ブレーキ工業株式会社（代表取締役社長：昼田 哲士 本店：岡山県総社市）と山陽ハイドリック工業株式会社（代表取締役社長：相澤 義春 本店：岡山県総社市）は、2005年4月1日の統合を視野に入れた合併契約書を締結いたしました。

合併の方法は対等合併となりますが、手続き上は存続会社を山陽ブレーキ工業とし、山陽ハイドリック工業の従業員も含めて引き継ぎます。新会社の社名は「曙ブレーキ山陽製造株式会社」とし、代表取締役社長には相澤 義春（現山陽ハイドリック工業 代表取締役社長）が就任いたします。また、円滑な統合を進めるために引き続き昼田哲士（現山陽ブレーキ工業 代表取締役社長）が経営に参画し、取締役会長に就任いたします。

今回の合併は、1999年から2001年まで展開した短期施策「曙再創21」、そして2002年から展開し本年度が最終年となるakebonoグループの3カ年中期経営計画「Forward 30」へと受け継がれた国内事業の再編の一環となります。新車組み付け用ディスクパッドの世界シェア30%獲得を目指す「Global 30」という目標達成に向け、企業基盤の充実と競争力強化による、相互の発展を目的としており、現在数ヶ所に分散所在している両社工場の集約を行い、経営・生産効率を高めていく所存です。

もとより、両社ともakebonoグループの重要な西日本地区の拠点ではありますが、合併に伴う競争力の強化により、今後はディスクブレーキ・ドラムブレーキの海外向け部品供給拠点として、特に2005年7月からの生産開始を予定している中国：广州曙光制动器有限公司 [英語表記：Akebono Corporation (Guangzhou)] 向けにも、その重要性は増すこととなり、akebonoグループの目指す「Global 30」に向けて、その位置づけは更に重要なものとなります。

### 【新会社の概要（予定）】

会社名	曙ブレーキ山陽製造株式会社
所在地	岡山県総社市
代表者	相澤 義春
資本金	94百万円
従業員数	約680名
主な事業内容	ディスクブレーキ、ドラムブレーキの製造、及びドラムブレーキ用 ホイールシリンダーの製造

## ご参考

### 【両社概要：2004年3月末現在】

#### <山陽ブレーキ工業株式会社>

所在地	岡山県総社市（本店）
設立	1965年
資本金	94百万円
売上高	145億円
従業員数	450名
主な事業内容	ディスクブレーキ、ドラムブレーキの製造

#### <山陽ハイドリック工業株式会社>

所在地	岡山県総社市（本店）
設立	1973年
資本金	30百万円
売上高	56億円
従業員数	233名
主な事業内容	ドラムブレーキ用ホイルシリンダーの製造